

PRESS RELEASE (2025/04/25)

九州大学総合研究博物館 公開展示 いつもは見られないエリアを一挙公開！「博物の森で遊ぼう」

九州大学総合研究博物館は、改修工事と関連して近々博物館の展示機能を休止する予定です。それに先立ち、5月17日から6月15日までの土日に、館内の通常は公開していないエリアを特別に一般公開します。

総合研究博物館には九州大学110余年の歴史の中で蓄積された145万点もの膨大な学術標本・資料が収蔵されています。これらは学問や大学の歩みを教えてくれるとともに、ここから新しい研究が生まれてくる可能性を秘めた宝物です。

さらに、箱崎サテライト近代建物群は2023年に九州大学初の登録有形文化財に指定されました。九州大学の代表的建築物であり、工学部設立のシンボルでもある館内の随所に散りばめられた開示室には貴重な学術標本・資料が所狭しと並べられています。文系・理系を問わず大学の研究を支えた膨大な学術標本・資料を一挙に見ることができる貴重な機会です。加えて期間中には教員による参加型イベントを実施します。是非お越しください。

【開催日時・会場】

- <日時> 5月17, 18, 24, 25, 31日・
6月1, 7, 8, 14, 15日(計10日間) **入場無料**
<会場> 九州大学箱崎サテライト旧工学部本館

<見どころ>

普段は公開していないエリアを一挙公開します。昆虫標本や弥生時代人骨、巨大な鉱物などここでしか見ることのできない標本が沢山展示されています。

【公開エリア詳細】

- ・4階壁画の開示室・工学部列品室・工学系資料開示室
- ・動物骨格標本開示室・剥製標本開示室・人骨資料開示室
- ・植物標本開示室・元寇防塁廊下展示
- ・化石標本開示室・昆虫標本開示室・高牡吉標本※開示室
(※工学部採鉱学教室高牡吉教授により収集された鉱物標本) など

<期間中のイベント>

- ① 専門家と登録有形文化財を巡ろう！
- ② 植物と什器をめぐるツアー
- ③ 貝の標本箱をつくろう
- ④ 丸山先生の昆虫子ども相談室
- ⑤ 鉱山サイエンスツアー
- ⑥ 触って考える、骨のカタチ
- ⑦ 発掘担当者ともぐる！箱崎キャンパス跡地ツアー
- ⑧ カタチを閉じ込める！樹脂標本づくり
- ⑨ 名誉プロフェッサー前田の化石講座
- ⑩ 鉱物標本作成ワークショップ



※ イベントの詳細は公式HPをご覧ください。
<https://www.museum.kyushu-u.ac.jp/event/2025exhibition/index.html> (4月1日から公開)

その他、九大生による展示も企画されています。